

学校コード F113310103901

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**届出**

注2

東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人片柳学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 事務局蒲田キャンパス事務部業務課

職名・氏名 カチヨウホサ マキハラタカシ  
課長補佐 牧原卓

電話番号 03-6424-2111

(夜間) 03-3732-1110

e-mail jm-kamatamng@stf.teu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

医療保健学部

＜リハビリテーション学科言語聴覚学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人片柳学園

## (2) 大学名

東京工科大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒144-8535  
東京都大田区西蒲田5-23-22  
(192-0982  
東京都八王子市片倉町1404-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(チバ シングル) 千葉 茂 (平成30年4月)		
学 長	(オオヤマ ヤスヒロ) 大山 恭弘 (令和2年4月)	(カガワ ユタカ) 香川 豊 (令和5年4月)	大山恭弘任期満了のため 令和5年4月より変更 (5)
学 部 長	(シノハラ カズヒコ) 篠原 一彦 (平成31年4月)	(ナカヤマ タカシ) 中山 孝 (令和5年4月)	篠原一彦任期満了のため 令和5年4月より変更 (5)
学科長等	(ナカヤマ タカシ) 中山 孝 (令和3年4月)	(サカイ ヒロミ) 酒井 弘美 (令和5年4月)	中山孝任期満了のため 令和5年4月より変更 (5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留學」の在留資格（いわゆる「留學ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 学士(言語聴覚学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期						
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	40	人	40	人	40	人	人	0.85倍	-倍	0.77倍	-倍	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	167	(-)	148	(-)	171	(-)						
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	141	(-)	124	(-)	156	(-)						
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	109	(-)	118	(-)	68	(-)						
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	24	(-)	33	(-)	45	(-)						
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	0.60	-	0.82	-	1.12	-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	23	-	29	-	46	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 1 )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	19	-	29	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 1 )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	18	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	23	-	48	-	93	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 2 )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**  
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	0人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	0人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	0人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	24人	1人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	1人	0人	進路の変更(1人)
令和4年度	56人	8人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	4人	0人	学修意欲の喪失(1人)、就職のため(1人)、他大学への進学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1名)
			令和4年度	4人	0人	学生個人の心身に関する事情(2名)、学業の不振(1名)、進路の変更(1人)
令和5年度	93人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		9人		9人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{24} = \boxed{4.16} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{56} = \boxed{14.28} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{93} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<医療保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	人文	哲学	1前	2								1
		芸術論	1前	2								1
		心理学	1後	2								1
		倫理学	1後	2								1
		宗教学	1前	2								1
	社会	科学論	1後	2								1
		政治学	1前	2								1
		経済学	1前	2								1
		法学	1後	2								1
		コミュニケーション論	2前	2								1
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2								1
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2								1
	ウエルネス	スポーツ・コンディショニング	1後	2								1
		スポーツ・コンディショニング実習	1後	1								1
		集中実技Ⅰ	1前	1								1
		集中実技Ⅱ	1後	1								1
		コンピュータ	コンピュータリテラシー演習	1前	1							
人間形成	コンピュータ概論Ⅰ	1前	2								1	
	コンピュータ概論Ⅱ	1後	2								1	
フレッシュヤーズゼミ	1前・後	2			3	3	1	2	0			
自然科学	医療科学の基礎	1前	2								2	
	生物の世界	1前	2								1	
	化学の世界	1後	2								1	
	物理の世界	1後	2								1	
	数学基礎	1前	2								1	
	統計学	2前	2								1	
小計(26科目)	-	7	41	0	3	3	1	2	0		18	
専門基礎科目	共通	医学概論	1前	2								1
		解剖学Ⅰ	1前	2		1						
		生理学Ⅰ	1前	2		1						
		病理学	2前	1								1
		精神医学	2前	2		1						
		臨床心理学	2後	2								1
		小児科学	2後	2								1
		リハビリテーション医学	2後	2		1						
		一般臨床医学	2後	2		1						
		神経内科学	2前	2		1						
		生命倫理	1後	2								1
		家族社会学	2前	2								1
		文章表現リテラシー	2前	1								1
		医療経済学	2後	2								1
		リハビリテーション工学	2後	2		1			2			
		公衆衛生学	3後	1								1
		ケアマネジメント	3後	1						1		
小計(17科目)	-	19	11	0	5	0	0	3	0		9	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	人文	哲学	1前	2								1
		芸術論	1前	2								1
		心理学	1後	2								1
		倫理学	1後	2								1
		宗教学	1前	2								1
	社会	科学論	1後	2								1
		政治学	1前	2								1
		経済学	1前	2								1
		法学	1後	2								1
		コミュニケーション論	2前	2								1
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2								1
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2								1
	ウエルネス	スポーツ・コンディショニング	1後	2								1
		スポーツ・コンディショニング実習	1後	1								1
		集中実技Ⅰ	1前	1								1
		集中実技Ⅱ	1後	1								1
		コンピュータ	コンピュータリテラシー演習	1前	1							
人間形成	コンピュータ概論Ⅰ	1前	2								1	
	コンピュータ概論Ⅱ	1後	2								1	
フレッシュヤーズゼミ	1前・後	2			3	4	0	2	0			
自然科学	医療科学の基礎	1前	2								2	
	生物の世界	1前	2								1	
	化学の世界	1後	2								1	
	物理の世界	1後	2								1	
	数学基礎	1前	2								1	
	統計学	2前	2								1	
小計(26科目)	-	7	41	0	3	4	0	2	0		19	
専門基礎科目	共通	医学概論	1前	2			4					4
		解剖学Ⅰ	1前	2		1						
		生理学Ⅰ	1前	2		1						
		病理学	2前	1								1
		精神医学	2前	2		1						
		臨床心理学	2後	2								1
		小児科学	2後	2								1
		リハビリテーション医学	2後	2		1						
		一般臨床医学	2後	2		1						
		神経内科学	2前	2		1						
		生命倫理	1後	2								1
		家族社会学	2前	2								1
		文章表現リテラシー	2前	1								1
		医療経済学	2後	2								1
		リハビリテーション工学	2後	2		1				0		
		公衆衛生学	3後	1								1
		ケアマネジメント	3後	1							0	1
小計(17科目)	-	19	11	0	8	0	0	0	0		12	





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 発展	医療安全・人間工学概論	3前	2								1
	先端医療総合講義	4前	2								1
	老年期理学療法	3後	2			1					
	生活環境福祉学	3後	1			1	1				
	グローバルマインドと作業療法	3後	1			1					
	先端作業療法Ⅰ	3前	2			2	2		2		
	先端作業療法Ⅱ	3後	2			2	2		2		
	言語聴覚研究	3後	1			1					
	言語聴覚卒業研究	4後	4			2	3	1			
	言語聴覚支援工学	3後	1			1					1
	言語聴覚療法プロジェクト	4後	1			1					1
	地域言語聴覚療法学	3後	1			1	2		1		
	小計(12科目)	-	0	20	0	4	6	2	4	0	3
合計(109科目)	-	99	72	0	10	6	2	7	0	41	

卒業要件及び履修方法

本学に4年以上在学し、基礎教育科目、専門基礎科目、専門科目から各専攻が定める科目を履修し、計128単位以上を修得した者に所定の学位を与える。  
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))

<言語聴覚学専攻>

基礎教育科目：

必修科目7単位、選択科目17単位以上(統計学、スポーツ・コンディショニング、スポーツ・コンディショニング実習を修得し、その他に人文、社会からそれぞれ4単位以上及び自然科学から2単位以上を修得すること)  
(計24単位以上)

専門基礎科目：

共通から必修科目19単位と、言語聴覚学基礎の22単位(計41単位)

専門科目：

言語聴覚学応用の51単位(計51単位)

選択科目：

専門基礎科目、共通の選択科目及び専門科目の発展から12単位以上(計12単位以上)

上記を修得した者に対し「学士(言語聴覚学)」の学位を授与する。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 発展	医療安全・人間工学概論	3前	2								1
	先端医療総合講義	4前	2								1
	老年期理学療法	3後	2				1		1		
	生活環境福祉学	3後	1				1	0	1		
	グローバルマインドと作業療法	3後	1			1					
	先端作業療法Ⅰ	3前	2			2	1		0		
	先端作業療法Ⅱ	3後	2			1	0	0	0		
	言語聴覚研究	3後	1			1					
	言語聴覚卒業研究	4後	4			2	4	0			
	言語聴覚支援工学	3後	1				1				1
	言語聴覚療法プロジェクト	4後	1				1				1
	地域言語聴覚療法学	3後	1			1	3		0		
	小計(12科目)	-	0	20	0	4	5	0	3	0	3
合計(109科目)	-	99	72	0	12	5	0	3	0	49	

卒業要件及び履修方法

本学に4年以上在学し、基礎教育科目、専門基礎科目、専門科目から各専攻が定める科目を履修し、計128単位以上を修得した者に所定の学位を与える。  
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))

<言語聴覚学専攻>

基礎教育科目：

必修科目7単位、選択科目17単位以上(統計学、スポーツ・コンディショニング、スポーツ・コンディショニング実習を修得し、その他に人文、社会からそれぞれ4単位以上及び自然科学から2単位以上を修得すること)  
(計24単位以上)

専門基礎科目：

共通から必修科目19単位と、言語聴覚学基礎の22単位(計41単位)

専門科目：

言語聴覚学応用の51単位(計51単位)

選択科目：

専門基礎科目、共通の選択科目及び専門科目の発展から12単位以上(計12単位以上)

上記を修得した者に対し「学士(言語聴覚学)」の学位を授与する。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	人文	哲学	1前	2								1
		芸術論	1前	2								1
		心理学	1後	2								1
		倫理学	1後	2								1
		宗教学	1前	2								1
	社会	科学論	1後	2								1
		政治学	1前	2								1
		経済学	1前	2								1
		法学	1後	2								1
		コミュニケーション論	2前	2								1
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2								1
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2								1
	ウエルネス	スポーツ・コンディショニング	1後	2								1
		スポーツ・コンディショニング実習	1後	1								1
		集中実技Ⅰ	1前	1								1
		集中実技Ⅱ	1後	1								1
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習	1前	1								1
		コンピュータ概論Ⅰ	1前	2								1
		コンピュータ概論Ⅱ	1後	2								1
	開形	フレッシュヤーズゼミ	1前・後	2			3	4	0	2	0	
自然科学	医療科学の基礎	1前	2								2	
	生物の世界	1前	2								1	
	化学の世界	1後	2								1	
	物理の世界	1後	2								1	
	数学基礎	1前	2								1	
	統計学	2前	2								1	
小計(26科目)			-	7	41	0	3	4	0	2	0	19
専門基礎科目	共通	医学概論	1前	2								1
		解剖学Ⅰ	1前	2			1					
		生理学Ⅰ	1前	2			1					
		病理学	2前	1								1
		精神医学	2前	2			1					
		臨床心理学	2後	2								1
		小児科学	2後	2								1
		リハビリテーション医学	2後	2			1					
		一般臨床医学	2後	2			1					
		神経内科学	2前	2			1					
		生命倫理	1後	2								1
		家族社会学	2前	2								1
		文章表現リテラシー	2前	1								1
		医療経済学	2後	2								1
		リハビリテーション工学	2後	2			1			0		
		公衆衛生学	3後	1								1
		ケアマネジメント	3後	1				1		0		
小計(17科目)			-	19	11	0	5	1	0	0	0	9

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	人文	哲学	1前	2								1
		芸術論	1前	2								1
		心理学	1後	2								1
		倫理学	1後	2								1
		宗教学	1前	2								1
	社会	科学論	1後	2								1
		政治学	1前	2								1
		経済学	1前	2								1
		法学	1後	2								1
		コミュニケーション論	2前	2								1
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2								1
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2								1
	ウエルネス	スポーツ・コンディショニング	1後	2								1
		スポーツ・コンディショニング実習	1後	1								1
		集中実技Ⅰ	1前	1								1
		集中実技Ⅱ	1後	1								1
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習	1前	1								1
		コンピュータ概論Ⅰ	1前	2								1
		コンピュータ概論Ⅱ	1後	2								1
	開形	フレッシュヤーズゼミ	1前・後	2			3	3	1	2	0	
自然科学	医療科学の基礎	1前	2								2	
	生物の世界	1前	2								1	
	化学の世界	1後	2								1	
	物理の世界	1後	2								1	
	数学基礎	1前	2								1	
	統計学	2前	2								1	
小計(26科目)			-	7	41	0	3	3	1	2	0	19
専門基礎科目	共通	医学概論	1前	2								1
		解剖学Ⅰ	1前	2			1					
		生理学Ⅰ	1前	2			1					
		病理学	2前	1								1
		精神医学	2前	2			1					
		臨床心理学	2後	2								1
		小児科学	2後	2								1
		リハビリテーション医学	2後	2			1					
		一般臨床医学	2後	2			1					
		神経内科学	2前	2			1					
		生命倫理	1後	2								1
		家族社会学	2前	2								1
		文章表現リテラシー	2前	1								1
		医療経済学	2後	2								1
		リハビリテーション工学	2後	2			1			2		
		公衆衛生学	3後	1								1
		ケアマネジメント	3後	1							1	
小計(17科目)			-	19	11	0	5	0	0	3	0	9



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 発展	医療安全・人間工学概論	3前		2								1
	先端医療総合講義	4前		2								1
	老年期理学療法	3後		2			1		1			
	生活環境福祉学	3後		1			1	0	1			
	グローバルマインドと作業療法	3後		1		0	1					
	先端作業療法Ⅰ	3前		2		2	1		2			
	先端作業療法Ⅱ	3後		2		1	0	2	0			
	言語聴覚研究	3後		1		1						
	言語聴覚卒業研究	4後		4		2	4	0				
	言語聴覚支援工学	3後		1		1						1
	言語聴覚療法プロジェクト	4後		1		1						1
	地域言語聴覚療法学	3後		1		1	2		0			
小計(12科目)	-	0	20	0	4	5	2	3			3	
合計(109科目)	-	99	72	0	10	6	2	5	0		42	

卒業要件及び履修方法

本学に4年以上在学し、基礎教育科目、専門基礎科目、専門科目から各専攻が定める科目を履修し、計128単位以上を修得した者に所定の学位を与える。  
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))

<言語聴覚学専攻>

基礎教育科目：

必修科目7単位、選択科目17単位以上(統計学、スポーツ・コンディショニング、スポーツ・コンディショニング実習を修得し、その他に人文、社会からそれぞれ4単位以上及び自然科学から2単位以上を修得すること)  
(計24単位以上)

専門基礎科目：

共通から必修科目19単位と、言語聴覚学基礎の22単位(計41単位)

専門科目：

言語聴覚学応用の51単位(計51単位)

選択科目：

専門基礎科目、共通の選択科目及び専門科目の発展から12単位以上(計12単位以上)

上記を修得した者に対し「学士(言語聴覚学)」の学位を授与する。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 発展	医療安全・人間工学概論	3前		2								1
	先端医療総合講義	4前		2								1
	老年期理学療法	3後		2			1					
	生活環境福祉学	3後		1			1	1				
	グローバルマインドと作業療法	3後		1		1						
	先端作業療法Ⅰ	3前		2		3	1		2			
	先端作業療法Ⅱ	3後		2		3	1		2			
	言語聴覚研究	3後		1		1						
	言語聴覚卒業研究	4後		4		2	3	1				
	言語聴覚支援工学	3後		1		1						1
	言語聴覚療法プロジェクト	4後		1		1						1
	地域言語聴覚療法学	3後		1		1	2		1			
小計(12科目)	-	0	20	0	5	5	2	4	0		3	
合計(109科目)	-	99	72	0	11	5	2	7	0		42	

卒業要件及び履修方法

本学に4年以上在学し、基礎教育科目、専門基礎科目、専門科目から各専攻が定める科目を履修し、計128単位以上を修得した者に所定の学位を与える。  
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))

<言語聴覚学専攻>

基礎教育科目：

必修科目7単位、選択科目17単位以上(統計学、スポーツ・コンディショニング、スポーツ・コンディショニング実習を修得し、その他に人文、社会からそれぞれ4単位以上及び自然科学から2単位以上を修得すること)  
(計24単位以上)

専門基礎科目：

共通から必修科目19単位と、言語聴覚学基礎の22単位(計41単位)

専門科目：

言語聴覚学応用の51単位(計51単位)

選択科目：

専門基礎科目、共通の選択科目及び専門科目の発展から12単位以上(計12単位以上)

上記を修得した者に対し「学士(言語聴覚学)」の学位を授与する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・教員の昇任により、「先端作業療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「先端作業療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」に変更。

**【令和4年度】**

- ・教員の変更により、「フレッシュャーズゼミ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「リハビリテーション工学」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「ケアマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「形成外科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「臨床歯科医学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「口腔外科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「発声発語系の構造・機能・病態」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「音響学（演習含む）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「言語発達学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教員の変更により、「言語発達障害学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語発達障害学Ⅲ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語発達障害学演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「発声発語障害学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「発声発語障害学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の変更により、「発声発語障害学Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の変更により、「発声発語障害学Ⅳ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の変更により、「吃音学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「摂食嚥下障害学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の変更により、「摂食嚥下障害学演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「ベーシックセミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚障害学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚障害学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「老年期理学療法学」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「生活環境福祉学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「グローバルマインドと作業療法」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の変更により、「先端作業療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「先端作業療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
- ・教員の変更により、「言語聴覚卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の変更により、「地域言語聴覚療法学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。

【令和5年度】

- ・教員の担当科目の変更により、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授4」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「ケアマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「臨床歯科医学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「口腔外科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「言語聴覚障害診断学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「言語発達障害学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「言語発達障害学演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「発声発語障害学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「発声発語障害学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「発声発語障害学Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「吃音学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「摂食嚥下障害学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「摂食嚥下障害学演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「言語聴覚総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「言語聴覚総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の承認により、「グローバルマインドと作業療法」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「先端作業療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「先端作業療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師0」に変更。
- ・教員の担当科目の変更により、「地域言語聴覚療法学」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
68 科目	41 科目	0 科目	109 科目	68 科目	41 科目	0 科目	109 科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{109} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (電車1時間30分) ・日本工学院専門学校 収容定員5,560人 基準面積 なし ・日本工学院八王子 専門学校 収容定員5,390人 基準面積 なし 共用の校舎敷地 341,996.22㎡のうち 借用面積31.29㎡ 借用期間 令和元年8月15日 ～令和31年8月14日	
	校 舎 敷 地	0㎡	341,996.22㎡	2,397.44㎡	344,393.66㎡		
	運 動 場 用 地	0㎡	36,158.00㎡	0㎡	36,158.00㎡		
	小 計	0㎡	378,154.22㎡	2,397.44㎡	380,551.66㎡		
	そ の 他	0㎡	23,635.10㎡	3,896.58㎡	27,531.68㎡		
	合 計	0㎡	401,789.32㎡	6,294.02㎡	408,083.34㎡		
(2) 校 舎	専 用			共用する他の 学校等の専用	計	・日本工学院専門学校 収容定員5,560人 基準面積15,460㎡ ・日本工学院八王子 専門学校 収容定員5,390人 基準面積15,370㎡ 共用の校舎敷地 341,996.22㎡のうち 借用面積31.29㎡ 借用期間 令和元年8月15日 ～令和31年8月14日	
	140,622.01㎡ (140,622.01㎡)	40,970.61㎡ (40,970.61㎡)	111,739.79㎡ (111,739.79㎡)	293,332.41㎡ (293,332.41㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	72室	5室	284室	6室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	医療保健学部リハビリテーション学科			29 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	医療保健学部 リハビリテー ション学科	7,528 [569] (6,862 [549])	41 [13] (41 [13])	4 [2] (4 [2])	323 (323)	2,552 (2,332)	224 (222)
	計	7,528 [569] (6,862 [549])	41 [13] (41 [13])	4 [2] (4 [2])	323 (323)	2,552 (2,332)	224 (222)
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	4,496㎡	874		238,000			
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	10,645㎡	テニスコート(5面)、50m公認プール					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当たり研究費等	500千円	500千円	図書購入費	5,700千円	2,000千円
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	28,000千円	60,000千円	12,000千円
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次
		1,900千円	1,590千円	1,626千円	1,662千円	—	—
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入等をもって支弁する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学										0	0	0	0	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度				
応用生物学部	4	260	2年次15 3年次9	1,103	—	1.08	—	1.03	—	—	平成15	—			
応用生物学科	4	260	2年次15 3年次9	1,103	学士 (バイオニクス)	1.08	—	1.03	—	—	平成15	東京都八王子市片倉町1404番地1号			
コンピュータサイエンス学部	4	290	2年次18 3年次12	1,238	—	1.06	—	1.11	—	—	平成15	—			
コンピュータサイエンス学科	4	290	2年次18 3年次12	1,238	学士 (コンピュータサイエンス)	1.06	—	1.11	—	—	平成15	東京都八王子市片倉町1404番地1号			
メディア学部	4	290	2年次17 3年次12	1,235	—	1.07	—	1.10	—	—	平成11	—			
メディア学科	4	290	2年次17 3年次12	1,235	学士 (メディア学)	1.07	—	1.10	—	—	平成11	東京都八王子市片倉町1404番地1号			
工学部	4	280	2年次13	1,159	—	1.10	—	1.08	—	—	平成27	—			
機械工学科	4	100	2年次5	415	学士 (工学)	1.09	—	1.12	—	—	平成27	東京都八王子市片倉町1404番地1号			
電気電子工学科	4	100	2年次5	415	学士 (工学)	1.12	—	1.08	—	—	平成27	同上			
応用化学科	4	80	2年次3	329	学士 (工学)	1.08	—	1.03	—	—	平成27	同上			
医療保健学部	4	400	—	1,600	—	1.03	—	1.02	—	—	平成22	—			
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.04	—	1.04	—	—	平成22	東京都大田区西蒲田五丁目23番22号	定員変更(△40)		
臨床工学科	4	80	—	320	学士 (臨床工学)	1.03	—	1.04	—	—	平成22	同上			
理学療法学科	4	—	—	—	学士 (理学療法)	—	—	—	—	—	平成22	同上	令和3年学生募集停止		
作業療法学科	4	—	—	—	学士 (作業療法)	—	—	—	—	—	平成22	同上	令和3年学生募集停止		
臨床検査学科	4	80	—	320	学士 (臨床検査)	1.04	—	1.02	—	—	平成26	同上			
リハビリテーション学科	4	160	—	640	—	1.02	—	0.98	—	—	令和3	—			
理学療法学専攻	4	80	—	320	学士 (理学療法)	1.09	—	1.07	—	—	令和3	東京都大田区西蒲田五丁目23番22号			
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (作業療法)	1.06	—	1.01	—	—	令和3	同上			
言語聴覚学専攻	4	40	—	160	学士 (言語聴覚)	0.85	—	0.77	—	—	令和3	同上			
デザイン学部	4	200	—	800	—	1.07	—	1.06	—	—	平成22	—			
デザイン学科	4	200	—	800	学士 (デザイン)	1.07	—	1.06	—	—	平成22	東京都大田区西蒲田五丁目23番22号			
大学全体	4	1,720	2年次63 3年次33	7,135	—	—	—	—	—	—	—	—			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。  
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療保健学部 リハビリテーション学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	
専	教授	中山 孝 (63) <令和3年4月> 博士(学術)	中山 孝 (63) <令和3年4月> 博士(学術)	中山 孝 (64) <令和3年4月> 博士(学術)	中山 孝 (65) <令和3年4月> 博士(学術)	中山 孝 (65) <令和3年4月> 博士(学術)	中山 孝 (65) <令和3年4月> 博士(学術)	
		フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ 理学療法研究 運動器系理学療法 マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)	フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ 理学療法研究 運動器系理学療法 マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)	フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ 理学療法研究 運動器系理学療法 マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)	フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ 運動器系理学療法 マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)	フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ 運動器系理学療法 マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)	フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ 運動器系理学療法 マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)	
専	教授	安倍 あき子 (55) <令和3年4月> 科学修士(カナダ)	安倍 あき子 (55) <令和3年4月> 科学修士(カナダ)					
		フレッシュアーズゼミ 作業療法実践論 高齢期作業療法 先端作業療法Ⅰ※ 身体機能作業療法学※ 作業療法臨床実習Ⅰ 身体機能作業療法学演習※ 総合作業療法 先端作業療法Ⅱ※ グローバルマインドと作業療法 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ	フレッシュアーズゼミ 作業療法実践論 高齢期作業療法 先端作業療法Ⅰ※ 身体機能作業療法学※ 作業療法臨床実習Ⅰ 身体機能作業療法学演習※ 総合作業療法 先端作業療法Ⅱ※ グローバルマインドと作業療法 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ					
専	教授	阿部 達彦 (53) <令和3年4月> 博士(歯学)	阿部 達彦 (53) <令和3年4月> 博士(歯学)	阿部 達彦 (54) <令和3年4月> 博士(歯学)	阿部 達彦 (55) <令和3年4月> 博士(歯学)	阿部 達彦 (55) <令和3年4月> 博士(歯学)	阿部 達彦 (55) <令和3年4月> 博士(歯学)	
		フレッシュアーズゼミ 解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ	フレッシュアーズゼミ 解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ	フレッシュアーズゼミ 解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法卒業研究Ⅱ	フレッシュアーズゼミ 解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法卒業研究Ⅱ	フレッシュアーズゼミ 解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法卒業研究Ⅱ	フレッシュアーズゼミ 解剖学Ⅰ 解剖学実習Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法卒業研究Ⅱ	
専	教授	生井 友紀子 (60) <令和3年4月> 博士(医学)	生井 友紀子 (60) <令和3年4月> 博士(医学)	生井 友紀子 (61) <令和3年4月> 博士(医学)	生井 友紀子 (62) <令和3年4月> 博士(医学)	生井 友紀子 (62) <令和3年4月> 博士(医学)	生井 友紀子 (62) <令和3年4月> 博士(医学)	
		フレッシュアーズゼミ 発声発語系の構造・機能・病態※ 音響学(演習含む)※ 発声発語障害Ⅰ※ 言語聴覚障害診断学※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 摂食嚥下障害学※ 摂食嚥下障害学演習※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究	フレッシュアーズゼミ 発声発語系の構造・機能・病態※ 音響学(演習含む)※ 発声発語障害Ⅰ※ 言語聴覚障害診断学※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 摂食嚥下障害学※ 摂食嚥下障害学演習※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究	フレッシュアーズゼミ 言語聴覚障害診断学※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 摂食嚥下障害学※ 摂食嚥下障害学演習※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究	フレッシュアーズゼミ 発声発語障害Ⅰ※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究	フレッシュアーズゼミ 発声発語障害Ⅰ※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究	フレッシュアーズゼミ 発声発語障害Ⅰ※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究	フレッシュアーズゼミ 発声発語障害Ⅰ※ 発声発語障害Ⅲ※ 発声発語障害Ⅳ※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究

専	教授	石黒 圭広 (62) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	石黒 圭広 (62) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	石黒 圭広 (63) <令和3年4月> 博士(工学)	専	教授	石黒 圭広 (64) <令和3年4月> 博士(工学)
		フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法学概論 キネシオロジー※ 運動器系理学療法評価学※ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ リハビリテーション工学 義肢装具学実習 クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 運動器系理学療法評価学※ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ リハビリテーション工学 義肢装具学実習 クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>運動療法※</b> <b>運動療法実習※</b>			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ リハビリテーション工学 義肢装具学実習 クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>キネシオロジー※</b> <b>キネシオロジー演習</b> <b>物理療法</b> <b>物理療法実習</b>			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学演習※ リハビリテーション工学 義肢装具学実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>物理療法</b> <b>物理療法実習</b> <b>医学概論※</b>
専	教授	酒井 弘美 (61) <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	酒井 弘美 (61) <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	酒井 弘美 (62) <令和3年4月> 博士(保健学)	専	教授	酒井 弘美 (63) <令和3年4月> 博士(保健学)
		フレッシュアーズゼミ 認知機能評価学 義肢装具学※ 作業療法実践論 身体機能作業療法学※ 認知機能作業療法学 先端作業療法Ⅰ※ 就労支援と作業療法※ 身体機能作業療法学演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法Ⅰ 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 認知機能評価学 義肢装具学※ 身体機能作業療法学※ 認知機能作業療法学 先端作業療法Ⅰ※ 就労支援と作業療法※ 身体機能作業療法学演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 認知機能評価学 義肢装具学※ 身体機能作業療法学※ 認知機能作業療法学 先端作業療法Ⅰ※ 就労支援と作業療法※ 身体機能作業療法学演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 認知機能評価学※ 義肢装具学※ 身体機能作業療法学※ 認知機能作業療法学 就労支援と作業療法※ 身体機能作業療法学演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ <b>医学概論※</b> <b>早期体験実習</b>
専	教授	清水 潤 (60) <令和3年4月> 医学博士	専	教授	清水 潤 (60) <令和3年4月> 医学博士	専	教授	清水 潤 (61) <令和3年4月> 医学博士	専	教授	清水 潤 (62) <令和3年4月> 医学博士
		フレッシュアーズゼミ 神経内科学 リハビリテーション医学 一般臨床医学 理学療法ゼミ 理学療法総合演習 理学療法卒業研究			フレッシュアーズゼミ 神経内科学 リハビリテーション医学 一般臨床医学 理学療法ゼミ 理学療法総合演習 理学療法卒業研究			フレッシュアーズゼミ 神経内科学 リハビリテーション医学 一般臨床医学 理学療法ゼミ 理学療法卒業研究			フレッシュアーズゼミ 神経内科学 リハビリテーション医学 一般臨床医学 理学療法ゼミ 理学療法卒業研究 <b>神経系理学療法学※</b>
専	教授	菅原 仁 (53) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	菅原 仁 (53) <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	菅原 仁 (53)	専	教授	
		フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ キネシオロジー演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 物理療法 物理療法実習 神経系理学療法学実習 運動器系理学療法学実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>生化学実習※</b> <b>キネシオロジー※</b> <b>基礎理学療法学実習Ⅱ</b> <b>検査・測定学</b> <b>検査・測定学演習</b>									







専	准教授	友利 幸之介 (43) <令和3年4月> 博士(体育学)	専	准教授	友利 幸之介 (43) <令和3年4月> 博士(体育学)	専	准教授	友利 幸之介 (44) <令和3年4月> 博士(体育学)	専	教授	友利 幸之介 (45) <令和3年4月> 博士(体育学)
		フレッシュアーズゼミ 運動学 運動学実習 作業評価学 作業療法実践論 作業療法研究 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 運動学 運動学実習 作業評価学 作業療法実践論 作業療法研究 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 運動学 運動学実習 作業評価学 作業療法研究 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>グローバルマインドと作業療法</b>			フレッシュアーズゼミ 運動学 運動学実習 作業評価学 作業療法研究 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>グローバルマインドと作業療法</b>
専	准教授		専	准教授		専	准教授	外山 稔 (41) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	准教授	外山 稔 (42) <令和4年4月> 博士(保健学)
								フレッシュアーズゼミ  フレッシュアーズゼミ 失語・高次脳機能障害学Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究 言語聴覚卒業研究			フレッシュアーズゼミ  言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究 リハビリテーション概論 言語聴覚診断学 漢字・下関習学 漢字・下関習学演習 言語聴覚総合演習Ⅱ 地域言語聴覚療法学
専	准教授	宮崎 貴朗 (60) <令和3年4月> 博士(学術)	専	准教授	宮崎 貴朗 (60) <令和3年4月> 博士(学術)	専	准教授	宮崎 貴朗 (61) <令和3年4月> 博士(学術)	専	准教授	宮崎 貴朗 (62) <令和3年4月> 博士(学術)
		フレッシュアーズゼミ 理学療法概論 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学実習 日常生活活動論実習 理学療法ゼミ 地域理学療法学 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 老年期理学療法学 生活環境福祉学 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュアーズゼミ 理学療法概論 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学実習 日常生活活動論実習 理学療法ゼミ 地域理学療法学 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 老年期理学療法学 生活環境福祉学 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュアーズゼミ 理学療法概論 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 日常生活活動論実習 理学療法ゼミ 地域理学療法学 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 老年期理学療法学 生活環境福祉学 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>日常生活活動論※</b>			フレッシュアーズゼミ 理学療法概論 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 日常生活活動論実習 理学療法ゼミ 地域理学療法学 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 老年期理学療法学 生活環境福祉学 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>日常生活活動論※</b>
専	講師	石橋 仁美 (43) <令和3年4月> 修士(情報学)	専	講師	石橋 仁美 (43) <令和3年4月> 修士(情報学)	専	講師	石橋 仁美 (44) <令和3年4月> 修士(情報学)	専	准教授	石橋 仁美 (45) <令和3年4月> 修士(情報学)
		フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 作業療法概論※ 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 作業療法実践論 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 就労支援と作業療法※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 作業療法概論※ 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 作業療法実践論 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 就労支援と作業療法※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 作業療法概論※ 精神機能評価学※ 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 就労支援と作業療法※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>先端作業療法Ⅱ※</b>			フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ 就労支援と作業療法※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>早期体験実習 先端作業療法Ⅰ※</b>

専	講師	日下 さと美 (45) <令和3年4月> 博士(保健医療学)	専	講師	日下 さと美 (45) <令和3年4月> 博士(保健医療学)	専	准教授	日下 さと美 (46) <令和3年4月> 博士(保健医療学)	専	准教授	日下 さと美 (47) <令和3年4月> 博士(保健医療学)
		フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 日常生活活動論※ 老年医学 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 日常生活活動論実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 地域理学療法学 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 生活環境福祉学 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 日常生活活動論※ 老年医学 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 日常生活活動論実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 地域理学療法学 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合)
専	講師	楠本 泰士 (35) <令和3年4月> 博士(理学療法)	専	講師		専	講師		専	講師	
		フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 生化学実習※ 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法評価学※ 運動療法※ 運動療法実習※ 理学療法研究 神経系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習※ 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)									
専	講師		専	講師	高木 健志 (35) <令和3年5月> 博士(理学療法)	専	講師	高木 健志 (36) <令和3年5月> 博士(理学療法)	専	講師	高木 健志 (37) <令和3年5月> 博士(理学療法)
					フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法評価学※ 神経系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習※ 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法評価学※ 神経系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習※ 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法評価学※ 神経系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習※ 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)
専	講師	忽那 俊樹 (39) <令和3年4月> 博士(医学)	専	講師	忽那 俊樹 (39) <令和3年4月> 博士(医学)	専	講師	忽那 俊樹 (40) <令和3年4月> 博士(医学)	専	准教授	忽那 俊樹 (41) <令和3年4月> 博士(医学)
		フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅱ 検査・測定学 検査・測定学演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 日常生活活動論※ 運動療法※ 運動療法実習※ 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 日常生活活動論※ 運動療法※ 運動療法実習※ 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 内部障害系理学療法評価学※ 運動療法※ 運動療法実習※ 内部障害系理学療法学※ 内部障害系理学療法学実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合)

専	講師	栗田 英明 (51) <令和3年4月> 博士(理学療法学)	専	准教授	栗田 英明 (51) <令和3年4月> 博士(理学療法学)				
		フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法評価学※ 物理療法 神経系理学療法学※ 神経系理学療法学実習 内部障害系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習※ 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法評価学※ 物理療法 神経系理学療法学※ 神経系理学療法学実習 内部障害系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習※ 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)				
専	講師	渡辺 時生 (51) <令和3年4月> 修士(学術)	専	講師	渡辺 時生 (51) <令和3年4月> 修士(学術)				
		フレッシュアーズゼミ 言語発達学 ベーシックセミナーⅡ 言語発達障害学Ⅰ 言語発達障害学Ⅲ 言語発達障害学演習 吃音学※ 言語聴覚総合演習Ⅰ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究			フレッシュアーズゼミ 言語発達学 ベーシックセミナーⅡ 言語発達障害学Ⅰ 言語発達障害学Ⅲ 言語発達障害学演習 吃音学※ 言語聴覚総合演習Ⅰ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※ 言語聴覚卒業研究				
専	助教	池田 晋平 (41) <令和3年4月> 修士(老年学)	専	助教	池田 晋平 (41) <令和3年4月> 修士(老年学)	池田 晋平 (42) <令和3年4月> 修士(老年学)			池田 晋平 (43) <令和3年4月> 修士(老年学)
		フレッシュアーズゼミ 早期体験実習 作業療法実践論 作業療法見学実習 身体機能作業療法学※ 地域生活支援と作業療法演習 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 早期体験実習 作業療法実践論 作業療法見学実習 身体機能作業療法学※ 地域生活支援と作業療法演習 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ				
						柴橋 広智 (39) <令和4年7月> 博士(医科学)			柴橋 広智 (40) <令和4年7月> 博士(医科学)
					フレッシュアーズゼミ 身体機能作業療法学 身体機能作業療法学演習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法卒業研究Ⅱ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ				

専	助教	伊藤 公一 (59) <令和3年4月> 修士(保健医療学)	専	助教	伊藤 公一 (60) <令和3年4月> 修士(保健医療学)	専	助教	伊藤 公一 (61) <令和3年4月> 修士(保健医療学)	専	助教	伊藤 公一 (62) <令和3年4月> 修士(保健医療学)
		フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 作業療法学概論※ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 発達と作業療法Ⅰ 作業療法実践論 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 作業療法学概論※ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 発達と作業療法Ⅰ 作業療法実践論 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 作業療法学概論※ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 発達と作業療法Ⅰ 先端作業療法Ⅰ※ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 人間発達学(作業療法)※ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 発達と作業療法Ⅰ 発達と作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>身体機能作業療法学※</b>
専	助教	内山 美保 (34) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション科学)	専	助教	内山 美保 (34) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション科学)	専	助教	内山 美保 (35) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション科学)	専	助教	内山 美保 (36) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション科学)
		フレッシュアーズゼミ 言語聴覚基礎実習 ベーシックセミナーⅡ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ コミュニケーション演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ コミュニケーション演習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅲ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※			フレッシュアーズゼミ 言語聴覚基礎実習 ベーシックセミナーⅡ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ コミュニケーション演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ コミュニケーション演習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅲ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※			フレッシュアーズゼミ 言語聴覚基礎実習 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅲ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅲ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※			フレッシュアーズゼミ 言語聴覚基礎実習 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※
専	助教	遠藤 裕子 (42) <令和4年4月> 学士(言語聴覚学)	専	助教	遠藤 裕子 (41) <令和4年4月> 学士(言語聴覚学)	専	助教		専	助教	
		フレッシュアーズゼミ 発声発語障害学Ⅲ※ 発声発語障害学Ⅳ※ ケアマネジメント 摂食嚥下障害学※ 摂食嚥下障害学演習※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 地域言語聴覚療法学※ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※			フレッシュアーズゼミ 発声発語障害学Ⅲ※ 発声発語障害学Ⅳ※ ケアマネジメント 摂食嚥下障害学※ 摂食嚥下障害学演習※ 言語聴覚総合演習Ⅱ※ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 地域言語聴覚療法学※ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ※ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ※						
専	助教		専	助教		専	助教	川上 勝也 (37) <令和4年4月> 修士(言語学)	専	助教	川上 勝也 (38) <令和4年4月> 修士(言語学)
					フレッシュアーズゼミ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ			フレッシュアーズゼミ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学特別講義Ⅰ 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ 言語発達障害学Ⅱ 摂食嚥下障害学演習 言語聴覚総合演習Ⅱ コミュニケーション演習Ⅱ			

専	助教	伊藤 咲子 (42) <令和3年4月> 博士(スポーツ医学)	専	助教	伊藤 咲子 (42) <令和3年4月> 博士(スポーツ医学)	専	助教	伊藤 咲子 (43) <令和3年4月> 博士(スポーツ医学)	専	助教	伊藤 咲子 (44) <令和3年4月> 博士(スポーツ医学)
		フレッシュャーズゼミ 基礎理学療法実習Ⅱ 運動器系理学療法実習 マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合実習 理学療法卒業研究			フレッシュャーズゼミ 運動器系理学療法実習 マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合実習 理学療法卒業研究 <b>理学療法臨床実習Ⅰ(見学)</b>			フレッシュャーズゼミ 運動器系理学療法実習 マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法総合実習 理学療法卒業研究 <b>理学療法臨床実習Ⅰ(見学)</b> <b>理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定)</b> <b>理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)</b>			フレッシュャーズゼミ 運動器系理学療法実習 マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合実習 理学療法卒業研究 <b>理学療法臨床実習Ⅰ(見学)</b> <b>運動器系理学療法実習</b> <b>運動療法実習</b> <b>運動療法実習Ⅱ(検査測定)</b> <b>理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)</b>
専	助教	大野 勤太 (33) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	大野 勤太 (33) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	大野 勤太 (34) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	大野 勤太 (35) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)
		フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 身体機能評価学 作業療法実践論 身体機能評価学演習 身体機能作業療法学総論 先端作業療法Ⅰ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 身体機能評価学 作業療法実践論 身体機能評価学演習 身体機能作業療法学総論 先端作業療法Ⅰ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 身体機能評価学 作業療法実践論 身体機能評価学演習 身体機能作業療法学総論 先端作業療法Ⅰ※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュャーズゼミ 身体機能評価学 作業療法実践論 身体機能評価学演習 身体機能作業療法学総論 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>作業療法研究</b>
専	助教	齋藤 寛樹 (33) <令和3年4月> Master of Clinical Physiotherapy (オーストラリア)	専	助教	齋藤 寛樹 (33) <令和3年4月> Master of Clinical Physiotherapy (オーストラリア)	専	助教	齋藤 寛樹 (34) <令和3年4月> Master of Clinical Physiotherapy (オーストラリア)	専	助教	齋藤 寛樹 (35) <令和3年4月> Master of Clinical Physiotherapy (オーストラリア)
		フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合実習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>生理学実習</b> <b>運動器系理学療法評価学</b> <b>運動器系理学療法学</b> <b>運動器系理学療法実習</b> <b>運動療法</b> <b>運動療法実習</b>			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>運動器系理学療法評価学</b> <b>運動器系理学療法学</b> <b>運動器系理学療法実習</b> <b>運動療法</b> <b>運動療法実習</b>			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) マニュアルセラピー マニュアルセラピー実習 スポーツ科学理学療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>運動器系理学療法評価学</b> <b>運動器系理学療法学</b> <b>運動器系理学療法実習</b> <b>運動療法</b> <b>運動療法実習</b>
専	助教	清家 庸佑 (36) <令和3年4月> 修士(作業療法学)	専	助教	清家 庸佑 (36) <令和3年4月> 修士(作業療法学)	専	助教	清家 庸佑 (37) <令和3年4月> 修士(作業療法学)	専	助教	清家 庸佑 (38) <令和3年4月> 修士(作業療法学)
		フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 作業療法実践論 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 作業療法実践論 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 作業療法実践論 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 総合作業療法学 先端作業療法Ⅱ※ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ			フレッシュャーズゼミ 早期体験実習 基礎作業学実習※ 精神機能評価学※ 作業療法実践論 精神機能評価学演習※ 精神機能作業療法学※ 精神機能作業療法学演習※ メンタルヘルスと作業療法※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法卒業研究Ⅰ 作業療法セミナー※ 作業療法卒業研究Ⅱ <b>作業療法研究</b>

専	助教	土屋 順子 (39) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	土屋 順子 (39) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	土屋 順子 (40) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	土屋 順子 (41) <令和3年4月> 修士(リハビリテーション学)
		フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法学概論 検査・測定学 検査・測定学演習 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学実習 神経系理学療法学※ 日常生活活動論実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 義肢装具学実習 神経系理学療法学※ 日常生活活動論実習 リスク管理論 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 人間発達学(理学療法) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 神経系理学療法学※ 日常生活活動論実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>神経系理学療法評価学※</b> <b>神経系理学療法学実習</b> <b>検査・測定学</b> <b>運動療法※</b> <b>運動療法実習※</b> <b>検査・測定学演習</b>			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ 検査・測定学 検査・測定学演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 物理療法 物理療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>理学療法学概論</b> <b>公衆衛生学演習</b> <b>日常生活活動論※</b> <b>地域理学療法学</b> <b>老年期理学療法学</b> <b>生活環境福祉学</b>
専	助教	太著 俊宏 (40) <令和3年4月> 博士(医学)	専	助教	太著 俊宏 (40) <令和3年4月> 博士(医学)	専	助教	太著 俊宏 (41) <令和3年4月> 博士(医学)	専	助教	太著 俊宏 (42) <令和3年4月> 博士(医学)
		フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ 検査・測定学 検査・測定学演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 物理療法 物理療法実習 運動器系理学療法学実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ 検査・測定学 検査・測定学演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 物理療法 物理療法実習 運動器系理学療法学実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>理学療法学概論</b>			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 物理療法 物理療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>理学療法学概論</b> <b>公衆衛生学演習</b> <b>日常生活活動論※</b> <b>地域理学療法学</b> <b>老年期理学療法学</b> <b>生活環境福祉学</b>			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 物理療法 物理療法実習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>理学療法学概論</b>
専	助教	吉田 真一 (54) <令和3年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	助教	吉田 真一 (55) <令和3年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	助教	吉田 真一 (56) <令和3年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	助教	吉田 真一 (57) <令和3年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		フレッシュャーズゼミ キネシオロジー※ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) キネシオロジー演習 運動器系理学療法評価学※ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) リハビリテーション工学 物理療法実習 運動器系理学療法学実習 クリニカル・キネシオロジー演習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) キネシオロジー演習 運動器系理学療法評価学※ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) リハビリテーション工学 物理療法実習 運動器系理学療法学実習 クリニカル・キネシオロジー演習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) キネシオロジー演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) クリニカル・キネシオロジー演習 スポーツ科学理学療法学演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>基礎理学療法学実習Ⅰ</b> <b>基礎理学療法学実習Ⅱ</b> <b>検査・測定学</b> <b>検査・測定学演習</b> <b>キネシオロジー※</b> <b>義肢装具学実習</b>			フレッシュャーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) キネシオロジー演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>基礎理学療法学実習Ⅱ</b>

専	助教	渡部 祥輝 (37) <令和3年4月> 修士(理学療法学)	専	助教	渡部 祥輝 (38) <令和3年4月> 修士(理学療法学)	専	講師	渡部 祥輝 (39) <令和3年4月> 修士(理学療法学)	専	講師	渡部 祥輝 (40) <令和3年4月> 修士(理学療法学)
		フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅱ 検査・測定学 検査・測定学演習 キネシオロジー演習 運動器系理学療法評価学※ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定)			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅱ 検査・測定学 検査・測定学演習 キネシオロジー演習 運動器系理学療法評価学※ 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) リハビリテーション工学 クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン)			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅱ 検査・測定学 検査・測定学演習 キネシオロジー演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) リハビリテーション工学 クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法総合演習 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>基礎理学療法学実習Ⅰ キネシオロジー※</b>			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 基礎理学療法学実習Ⅱ 検査・測定学 検査・測定学演習 キネシオロジー演習 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法ゼミ 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法卒業研究 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) <b>キネシオロジー※ 生理学実習※ 理学療法研究 運動療法※ 運動療法実習※ 理学療法総合演習</b>
専	助教		専	助教		専	助教	田中 周 (29) <令和4年8月> 修士(リハビリテーション学)	専	助教	田中 周 (30) <令和4年8月> 修士(リハビリテーション学)
					フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) 理学療法ゼミ 理学療法総合演習 理学療法卒業研究			フレッシュアーズゼミ 理学療法臨床実習Ⅰ(見学) 理学療法臨床実習Ⅱ(検査測定) 理学療法臨床実習Ⅲ(総合) 理学療法臨床実習Ⅳ(インターン) 理学療法ゼミ 理学療法総合演習 理学療法卒業研究			
兼任	教授	アリスティアR.キャンベル (57) <令和3年4月> MSc in Advanced Learning Technology	兼任	教授	アリスティアR.キャンベル (57) <令和3年4月> MSc in Advanced Learning Technology	兼任	教授	アリスティアR.キャンベル (58) <令和3年4月> MSc in Advanced Learning Technology	兼任	教授	
		フレッシュマンイングリッシュ Ⅰ フレッシュマンイングリッシュ Ⅱ			フレッシュマンイングリッシュ Ⅰ フレッシュマンイングリッシュ Ⅱ			フレッシュマンイングリッシュ Ⅰ フレッシュマンイングリッシュ Ⅱ			
兼任	教授	落合 浩太郎 (58) <令和3年4月> 法学修士	兼任	教授	落合 浩太郎 (58) <令和3年4月> 法学修士	兼任	教授	落合 浩太郎 (59) <令和3年4月> 法学修士	兼任	教授	勝浦 寿美 (60) <令和5年4月> 文学修士
		政治学			政治学			政治学			フレッシュマンイングリッシュ Ⅰ フレッシュマンイングリッシュ Ⅱ
兼任	教授	黒川 修一 (64) <令和3年4月> 芸術学修士	兼任	教授	黒川 修一 (64) <令和3年4月> 芸術学修士	兼任	教授	黒川 修一 (65) <令和3年4月> 芸術学修士	兼任	教授	暮沢 剛巳 (57) <令和5年4月> 修士(学術)
		芸術論			芸術論			芸術論			芸術論
兼任	教授	佐久間 祐司 (61) <令和3年4月> 体育学修士	兼任	教授	佐久間 祐司 (61) <令和3年4月> 体育学修士	兼任	教授	佐久間 祐司 (62) <令和3年4月> 体育学修士	兼任	教授	佐久間 祐司 (63) <令和3年4月> 体育学修士
		集中実技Ⅰ 集中実技Ⅱ スポーツ・コンディショニング 実習			集中実技Ⅰ 集中実技Ⅱ			集中実技Ⅰ 集中実技Ⅱ			集中実技Ⅰ 集中実技Ⅱ





兼任	講師	肥後 梨恵子 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		栄養と健康
兼任	講師	中村 秀明 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		生物の世界
兼任	講師	下村 美文 (48) ＜令和3年9月＞ 博士(工学)
		医療科学の基礎 化学の世界
兼任	講師	中川 明博 (62) ＜令和3年4月＞ 哲学修士
		哲学
兼任	講師	沼田 真美 (33) ＜令和3年9月＞ 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	岡野 浩 (59) ＜令和3年9月＞ 文学修士
		倫理学 生命倫理
兼任	講師	志田 雅宏 (40) ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		宗教学
兼任	講師	宅間 直樹 (53) ＜令和3年9月＞ 博士(学術)
		科学論

兼任	講師	肥後 梨恵子 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		栄養と健康 <b>スポーツ・コンディショニング 実習</b>
兼任	講師	中村 秀明 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		生物の世界
兼任	講師	下村 美文 (48) ＜令和3年9月＞ 博士(工学)
		医療科学の基礎 化学の世界
兼任	講師	中川 明博 (62) ＜令和3年4月＞ 哲学修士
		哲学
兼任	講師	沼田 真美 (33) ＜令和3年9月＞ 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	岡野 浩 (58) ＜令和3年9月＞ 文学修士
		倫理学 生命倫理
兼任	講師	志田 雅宏 (40) ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		宗教学
兼任	講師	宅間 直樹 (53) ＜令和3年9月＞ 博士(学術)
		科学論

兼任	講師	中村 秀明 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		生物の世界
兼任	講師	下村 美文 (49) ＜令和3年9月＞ 博士(工学)
		医療科学の基礎 化学の世界
兼任	講師	中川 明博 (63) ＜令和3年4月＞ 哲学修士
		哲学
兼任	講師	沼田 真美 (34) ＜令和3年9月＞ 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	岡野 浩 (59) ＜令和3年9月＞ 文学修士
		倫理学 生命倫理
兼任	講師	志田 雅宏 (41) ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		宗教学
兼任	講師	宅間 直樹 (54) ＜令和3年9月＞ 博士(学術)
		科学論

兼任	講師	中村 秀明 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		生物の世界
兼任	講師	下村 美文 (50) ＜令和3年9月＞ 博士(工学)
		医療科学の基礎 化学の世界
兼任	講師	
兼任	講師	山中 健義 (35) ＜令和3年4月＞ 修士(哲学)
		哲学
兼任	講師	瀧美 剛史 (34) ＜令和5年9月＞ 博士(理学)
		心理学
兼任	講師	岡野 浩 (60) ＜令和3年9月＞ 文学修士
		倫理学 生命倫理
兼任	講師	
兼任	講師	木村 悠之介 (27) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		宗教学
兼任	講師	宅間 直樹 (55) ＜令和3年9月＞ 博士(学術)
		科学論



兼任	講師	阪本 桂造 (80) ＜令和4年4月＞ 医学博士	兼任	講師	阪本 桂造 (79) ＜令和4年4月＞ 医学博士						
		整形外科科学			整形外科科学						
兼任	講師	海老原 覚 (59) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	海老原 覚 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	海老原 覚 (58) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	海老原 覚 (59) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		老年医学			老年医学			老年医学			老年医学
兼任	講師	竹内 真一 (66) ＜令和4年9月＞ 博士(工学)	兼任	講師	竹内 真一 (65) ＜令和4年9月＞ 博士(工学)	兼任	講師	竹内 真一 (66) ＜令和4年9月＞ 博士(工学)	兼任	講師	竹内 真一 (67) ＜令和4年9月＞ 博士(工学)
		画像評価学			画像評価学			画像評価学			画像評価学
兼任	講師	黒川 幸雄 (78) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	黒川 幸雄 (75) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	黒川 幸雄 (76) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)			
		理学療法マネジメント論			理学療法マネジメント論			理学療法マネジメント論			
兼任	講師	佐藤 伸弘 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 伸弘 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 伸弘 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	佐藤 伸弘 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		形成外科学			形成外科学			形成外科学※			形成外科学※
兼任	講師	洪井 武夫 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	兼任	講師	洪井 武夫 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	兼任	講師	洪井 武夫 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	兼任	講師	洪井 武夫 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)
		口腔外科学※ 臨床歯科医学※			口腔外科学※ 臨床歯科医学※			口腔外科学 臨床歯科医学			口腔外科学※ 臨床歯科医学※
兼任	講師	永井 知代子 (57) ＜令和3年9月＞ 医学博士	兼任	講師	永井 知代子 (56) ＜令和3年9月＞ 医学博士	兼任	講師	永井 知代子 (57) ＜令和3年9月＞ 医学博士	兼任	講師	永井 知代子 (58) ＜令和3年9月＞ 医学博士
		神経系の構造・機能・病態			神経系の構造・機能・病態			神経系の構造・機能・病態			神経系の構造・機能・病態
兼任	講師	眞邊 一近 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)	兼任	講師	眞邊 一近 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)	兼任	講師	眞邊 一近 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)	兼任	講師	眞邊 一近 (67) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)
		認知・学習心理学 心理測定法			認知・学習心理学 心理測定法			認知・学習心理学 心理測定法			認知・学習心理学 心理測定法 人間発達学(理学療法)
兼任	講師	峰岸 真琴 (65) ＜令和4年9月＞ 修士(文学)	兼任	講師	峰岸 真琴 (64) ＜令和4年9月＞ 修士(文学)	兼任	講師	峰岸 真琴 (65) ＜令和4年9月＞ 修士(文学)	兼任	講師	峰岸 真琴 (66) ＜令和4年9月＞ 修士(文学)
		言語学			音声学 I 言語学			音声学 I 言語学			言語学
兼任	講師	峰岸 幸江 (64) ＜令和3年9月＞ 修士(文学)	兼任	講師	峰岸 幸江 (64) ＜令和3年9月＞ 修士(文学)	兼任	講師	峰岸 幸江 (65) ＜令和3年9月＞ 修士(文学)	兼任	講師	峰岸 幸江 (66) ＜令和3年9月＞ 修士(文学)
		音声学 I 音声学 II			音声学 II			音声学 II			音声学 I 音声学 II

兼任	講師	籠宮 隆之 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	兼任	講師	籠宮 隆之 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	兼任	講師	籠宮 隆之 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)			
		音響学(演習含む)※			音響学(演習含む)※			音響学(演習含む)			
兼任	講師	今泉 敏 (72) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	今泉 敏 (71) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)						
		音響学(演習含む)※			音響学(演習含む)※						
兼任	講師	米本 清 (68) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)	兼任	講師	米本 清 (66) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)	兼任	講師	米本 清 (67) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)	兼任	講師	米本 清 (68) ＜令和4年9月＞ 博士(医学)
		聴覚心理学			聴覚心理学			聴覚心理学			聴覚心理学 音響学(演習含む)
兼任	講師	吉永 勝訓 (67) ＜令和3年9月＞ 医学博士	兼任	講師	吉永 勝訓 (66) ＜令和3年9月＞ 医学博士	兼任	講師	吉永 勝訓 (67) ＜令和3年9月＞ 医学博士			
		リハビリテーション概論※			リハビリテーション概論※			リハビリテーション概論※			
兼任	講師	太田 貞司 (76) ＜令和5年9月＞ 博士(学術)	兼任	講師	太田 貞司 (74) ＜令和5年9月＞ 博士(学術)	兼任	講師	太田 貞司 (75) ＜令和5年9月＞ 博士(学術)			
		保健医療福祉総論			保健医療福祉総論			保健医療福祉総論			
									兼任	講師	松崎 吉之助 (47) ＜令和5年9月＞ 博士(学術)
											保健医療福祉総論
兼任	講師	山下 夕香里 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	兼任	講師	山下 夕香里 (67) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	兼任	講師	山下 夕香里 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)	兼任	講師	山下 夕香里 (69) ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)
		発声発語障害学Ⅰ※ 発声発語障害学Ⅱ※			発声発語障害学Ⅰ※ 発声発語障害学Ⅱ※			発声発語障害学Ⅰ 発声発語障害学Ⅱ			発声発語障害学Ⅰ 発声発語障害学Ⅱ
兼任	講師	坂田 善政 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション学科)	兼任	講師	坂田 善政 (42) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)	兼任	講師	坂田 善政 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)	兼任	講師	坂田 善政 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)
		発声発語障害学Ⅲ※			発声発語障害学Ⅲ※			発声発語障害学Ⅲ※			発声発語障害学Ⅲ※
兼任	講師	笹部 明美 (62) ＜令和5年9月＞ 学士(文学)	兼任	講師	笹部 明美 (59) ＜令和5年9月＞ 学士(文学)	兼任	講師	笹部 明美 (60) ＜令和5年9月＞ 学士(文学)	兼任	講師	笹部 明美 (61) ＜令和5年9月＞ 学士(文学)
		言語聴覚支援工学※			言語聴覚支援工学※			言語聴覚支援工学※			言語聴覚支援工学※
兼任	講師	西脇 恵子 (63) ＜令和6年9月＞ 修士(保健医療学)	兼任	講師	西脇 恵子 (60) ＜令和6年9月＞ 修士(保健医療学)	兼任	講師	西脇 恵子 (61) ＜令和6年9月＞ 修士(保健医療学)	兼任	講師	西脇 恵子 (62) ＜令和6年9月＞ 修士(保健医療学)
		言語聴覚療法プロジェクト※			言語聴覚療法プロジェクト※			言語聴覚療法プロジェクト※			言語聴覚療法プロジェクト※
						兼任	講師	川上 正隆 (61) ＜令和4年9月＞ 修士(法学)	兼任	講師	川上 正隆 (62) ＜令和4年9月＞ 修士(法学)
								法学			法学
						兼任	講師	野妻 敬子 (58) ＜令和4年4月＞ 学士(看護学)	兼任	講師	野妻 敬子 (59) ＜令和4年4月＞ 学士(看護学)
								病理・組織学演習 解剖学実習Ⅱ			病理・組織学演習 解剖学実習Ⅱ 解剖学実習Ⅰ



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・令和3年4月澤田辰徳准教授、教授に昇任
- ・令和3年4月栗田英明講師、准教授に昇任
- ・楠本泰士講師就任辞退により、高木健志講師（令和3年5月1日就任）に変更

【令和4年度】

- ・令和4年4月日下さと美講師、准教授に昇任
- ・安倍教授退職により、池田晋平助教、講師に昇任（令和4年4月1日）
- ・池田晋平助教昇任により、柴橋広智助教（令和4年7月1日就任）を採用
- ・菅原仁教授辞任により、乙戸崇寛教授（令和4年9月1日就任）を採用
- ・栗田英明准教授辞任により、渡辺祥輝助教、講師に昇任（令和4年4月1日）
- ・渡辺祥輝助教昇任により、田仲周助教（令和4年8月1日就任）を採用
- ・渡辺時生講師辞任により、外山稔准教授（令和4年4月1日就任）を採用
- ・遠藤裕子助教就任辞退により、川上勝也助教（令和4年4月1日就任）を採用

【令和5年度】

- ・令和5年4月友利幸之介准教授、教授に昇任
- ・令和5年4月忽那俊樹講師、准教授に昇任
- ・令和5年4月石橋仁美講師、准教授に昇任

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	6
11	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	6	6	12	36	0	13	8	3	12	36	0
(13)	(4)	(4)	(11)	(33)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	8	3	12	36	0	13	8	3	12	36	0
[ 1 ]	[ 2 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{36}{36} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{36} = \boxed{5.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
								必修	選択
1	講師	楠本 泰士	R2.12	必修	フレッシュャーズゼミ	①	R2.12一身上の都合のため就任辞退（3）		
				必修	理学療法臨床実習Ⅰ（見学）	①			
				必修	生理学実習	①			
				必修	人間発達学（理学療法）	①			
				必修	理学療法臨床実習Ⅱ（検査測定）	①			
				必修	神経系理学療法評価学	①			
				必修	運動療法	①			
				必修	運動療法実習	①			
				必修	理学療法研究	①			
				必修	神経系理学療法学実習	①			
				必修	発達障害系理学療法学実習	①			
				必修	理学療法ゼミ	①			
				必修	理学療法臨床実習Ⅲ（総合）	①			
				必修	理学療法総合演習	①			
				必修	理学療法卒業研究	①			
2	助教	遠藤 裕子	R3.7	必修	フレッシュャーズゼミ	①	R3.7一身上の都合のため就任辞退（4）		
				必修	発声発語障害学Ⅲ	①			
				必修	発声発語障害学Ⅳ	①			
				選択	ケアマネジメント	②			
				必修	摂食嚥下障害学	①			
				必修	摂食嚥下障害学演習	①			
				必修	言語聴覚総合演習Ⅱ	①			
				必修	言語聴覚臨床実習Ⅰ	①			
				選択	地域言語聴覚療法学	①			
				必修	言語聴覚臨床実習Ⅱ	①			
				必修	言語聴覚臨床実習Ⅲ	①			
				必修	言語聴覚障害学特別講義Ⅰ	①			
				必修	言語聴覚障害学特別講義Ⅱ	①			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	27 科目	必修	27 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	29 科目	計	28 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」



(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	安倍 あき子	R4.3	必修	フレッシュャーズゼミ	①	R4.3.31付け一身上の都合のため辞任(4)		
				必修	作業療法実践論	①			
				必修	高齢期作業療法学	①			
				選択	先端作業療 I	①			
				必修	身体機能作業療法学	①			
				必修	作業療法臨床実習 I	①			
				必修	身体機能作業療法学演習	①			
				必修	総合作業療法学	①			
				選択	先端作業療 II	①			
				選択	グローバルマインドと作業療法	①			
				必修	作業療法臨床実習 II	①			
				必修	作業療法臨床実習 III	①			
				必修	作業療法卒業研究 I	①			
				必修	作業療法セミナー	①			
必修	作業療法卒業研究 II	①							
2	教授	菅原 仁	R4.3	必修	フレッシュャーズゼミ	①	R4.3.31付け一身上の都合のため辞任(4)		
				必修	理学療法臨床実習 I (見学)	①			
				必修	基礎理学療法学実習 I	①			
				必修	キネシオロジー演習	①			
				必修	理学療法臨床実習 II (検査測定)	①			
				必修	物理療法	①			
				必修	物理療法実習	①			
				必修	神経系理学療法学実習	①			
				必修	運動器系理学療法学実習	①			
				必修	リスク管理論	①			
				必修	理学療法ゼミ	①			
				必修	理学療法臨床実習 III (総合)	①			
				必修	理学療法総合演習	①			
				必修	理学療法卒業研究	①			
				必修	理学療法臨床実習 IV (インターン)	①			
				必修	生理学実習	①			
				必修	キネシオロジー	①			
				必修	基礎理学療法学実習 II	①			
必修	検査・測定学	①							
必修	検査・測定学演習	①							
3	准教授	栗田 英明	R4.3	必修	フレッシュャーズゼミ	①	R4.3.31付け一身上の都合のため辞任(4)		
				必修	理学療法臨床実習 I (見学)	①			
				必修	理学療法臨床実習 II (検査測定)	①			
				必修	神経系理学療法評価学	①			
				必修	物理療法	①			
				必修	神経系理学療法学	①			
				必修	神経系理学療法学実習	①			
				必修	内部障害系理学療法学実習	①			
				必修	発達障害系理学療法学演習	①			
				必修	理学療法ゼミ	①			
				必修	理学療法臨床実習 III (総合)	①			
				必修	理学療法総合演習	①			
				必修	理学療法卒業研究	①			
				必修	理学療法臨床実習 IV (インターン)	①			
4	講師	渡辺 時生	R4.3	必修	フレッシュャーズゼミ	①	R4.3.31付け一身上の都合のため辞任(4)		
				必修	言語発達学	①			
				必修	ベーシックセミナー II	①			
				必修	言語発達障害学 I	①			
				必修	言語発達障害学 III	①			
				必修	言語発達障害学演習	①			
				必修	吃音学	①			
				必修	言語聴覚総合演習 I	①			
				必修	言語聴覚臨床実習 I	①			
				必修	言語聴覚臨床実習 II	①			
				必修	言語聴覚臨床実習 III	①			
				必修	言語聴覚学特別講義 I	①			
				必修	言語聴覚学特別講義 II	①			
				選択	言語聴覚卒業研究	①			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	59 科目	必修	59 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	63 科目	計	63 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)										
辞任等した教員数			担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
6	人	必修	86	科目	必修	86	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	5	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	92	科目	計	91	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{6}{36} = 16.66 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		「該当なし」											
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

各科目の担当教員の見直しを行い、予定通り全科目を開講することから、特段の問題はないと考える。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時  (令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</li> </ul>	<p>【届出】 遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の教育や課外活動の場としては、八王子キャンパスの運動施設を活用することとしているが、スポーツ・コンディショニング実習については、蒲田キャンパスに併設している日本工学院専門学校と調整し、同校の体育施設を活用している。また、課外活動についても、八王子キャンパス体育施設の利用の他に、八王子キャンパスまでの移動時間を踏まえ、日本工学院専門学校の体育施設及び蒲田キャンパス近隣の運動施設も活用している。(4) (5)</li> </ul>	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<医療保健学部 リハビリテーション学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

東京工科大学企画推進会議（以下「企画推進会議」）を設置し、教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行っている。また、学長諮問委員会としてFD委員会を設置し、全学的なFD・SD活動に取り組んでいる。さらに、学長諮問委員会として設置している教育力強化委員会において、講義科目、実験・演習科目を対象とした教員相互の授業点検を実施しており、同委員会では授業点検結果の分析点検項目の見直し等を行い教育における教員の資質向上に努めている。

東京工科大学企画推進会議規程

（名称）

第1条 本学に企画推進会議を置く。

（目的）

第2条 企画推進会議は、全学的な教育課程の編成方針、大学の継続的な諸改革の推進等に関し、学長を補佐しその諮問に応じる。

（構成）

第3条 企画推進会議は、学長、副学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、IRセンター長、メディアセンター長、事務局長並びに学長室長をもって構成する。

ただし、学長が必要と認める場合には、その他の職員及び学外の有識者をアドバイザーとして出席させることができる。

（開催）

第4条 企画推進会議は、学長が招集し、議長となる。

2. 企画推進会議は、原則として月1回開催するものとする。

3. 学長は、前項以外に臨時に企画推進会議を招集することができる。

（庶務）

第5条 本会議の庶務は、関係部署の協力を得て、学長室が行う。

（改廃）

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が定める。

附則

1. この規程は、平成20年6月1日から施行する。

1. この改正規程は、平成23年4月1日から施行する。

1. この改正規程は、平成24年4月1日から施行する。

1. この改正規程は、平成26年12月1日から施行する。

1. この改正規程は、令和3年4月1日から施行する。

## 東京工科大学 FD 委員会規程

### (目的)

第1条 この規程は、東京工科大学（以下「本学」という。）における授業及び研究指導の内容及び方法を改善し、教育研究の質の向上を図るための組織的な研究及び研修（以下「FD 活動」という。）について検討するために設置する東京工科大学 FD 委員会（以下「本委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものである。

### (位置づけ及び構成)

第2条 本委員会は、学長直属の委員会とする。

2. 本委員会は、学長を委員長、教務部長を副委員長とし、次の委員をもって構成する。

- (1) 各学部・学環から選出される教員 各1名
- (2) 各研究科から選出される教員 各1名
- (3) 大学事務局から委嘱される職員 若干名

### (審議事項)

第3条 本委員会は、下記の事項について審議する。

- (1) 本学における FD 活動の方針に関する事
- (2) 前号に基づく計画の策定及び実施に関する事
- (3) 本学における FD 活動に係る検証に関する事
- (4) その他 FD 活動に関する事

### (会議出席者)

第4条 委員長は必要に応じ委員以外の者に出席を依頼することができる。

### (専門委員会の設置)

第5条 委員長は、本委員会の審議などを円滑に行うために必要があると認める場合は、恒常的又は臨時的な専門委員会等を随時設置することができる。

2. 委員長は、設置する専門委員会等の審議内容に応じ、当該専門委員会等の委員長及び構成員を委嘱する。

### (自己点検・評価委員会との連携)

第6条 委員長は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、東京工科大学自己点検・評価委員会と連携して、適切かつ有益な FD 活動の実施に努めなければならない。

### (庶務)

第7条 本委員会の庶務は、関係部署の協力を得て、学長室が行う。

### (改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が定める。

### 附則

1. この規程は、平成28年7月1日から施行する。
2. この規程の施行に伴い、平成23年4月13日付で学長の諮問委員会として設置された FD 委員会は、この規程に基づき設置する委員会とする。
1. この改正規程は、令和2年4月1日から施行する。

## b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・企画推進会議は、学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長、学長室長等で構成している。通常は原則として月1回開催することとしており、開催日をあらかじめ決めて開催していることから、ほぼ全員が出席している。
- ・FD委員会は、別に実施している全学教職員会におけるテーマ設定を目的として開催している。令和4年度は2回開催した。構成委員の予定を調整して開催していることから、ほぼ全員が出席している。
- ・教育力強化委員会は、全専任教員に対して実施している教員相互の授業点検における結果の検証、点検項目の改善等を目的として令和4年度は3回開催した。構成委員の予定を調整して開催していることから、ほぼ全員が出席している。

## c 委員会の審議事項等

- ・企画推進会議では、学部独自のFD活動やFD委員会で設定した全学教職員会のテーマについて報告・意見交換を行うとともに、FD活動に限らず学部の取り組みなどについて報告し、共有を図っている。
- ・FD委員会では、本学の課題や取り組むべき事項を抽出するとともに、大学の理念・目的の理解、授業における教授法、学修・学生支援、教育ツールの共有、教員倫理・社会的責任の認識等、全学教職員会における時代に則した適切なテーマ設定について審議している。
- ・教育力強化委員会では、教員相互の授業点検に関し、点検結果の検証や評価の低い教員への再点検の要否、点検項目の見直し等について審議している。

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・ 教員相互の授業点検（教育力強化委員会）
- ・ 全学教職員会（FD委員会）
- ・ 新任教員研修会
- ・ アゴラ
- ・ 授業評価アンケート

### b 実施方法

- ・ 教員相互の授業点検  
専任教員の授業を、当該学部長・学環長、当該学部・学環教務委員長等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価を行い、それを点数化するとともに、その結果をもとに評価教員と被評価教員が面談を実施している。
- ・ 全学教職員会  
八王子・蒲田の両キャンパスで原則として月1回全教職員を構成員とする全学教職員会を開催し、当該年度の学長方針等をはじめ、FD委員会で設定したテーマに基づき、教職協働で教育の向上や学生支援に役立てている。
- ・ 新任教員研修会  
新任教員を対象に、学長から本学の理念と目標、教育研究に関することについて訓話をおこなっている。
- ・ アゴラ  
学部・学環ごとに当該組織の教育・研究に関する討論の場として、アゴラを原則として月1回開催している。このアゴラには事務局は参加せず、完全に教員のみによる活発な討論の場としている。
- ・ 授業評価アンケート  
開講している全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教員相互の授業点検  
令和4年度は大学全体で48名の専任教員の授業点検を実施した。このうちリハビリテーション学科では、前期に3名、後期に2名を実施した。
- ・ 全学教職員会  
令和4年度は下記のテーマにより全10回開催し、平均出席率は約86%である。  
第1回：2022年度片柳学園運営方針（理事長）2022年度東京工科大学運営方針（学長）  
第2回：2022年度基本方針（副学長、研究所長、教務部長、学生部長、就職部長）  
第3回：AI研究会 各分科会の研究成果発表  
第4回：高等学校の新学習指導要領について  
第5回：山形県の高校における『探究型学習』の取組について  
第6回：インストラクショナル・デザインについて  
第7回：研究インテグリティの概要と最近の動向について  
第8回：大学におけるハラスメント防止について  
第9回：学修成果の可視化—GPS-academic 受検結果について  
第10回：第2期戦略的教育プログラムについて
- ・ 新任教員研修会  
令和5年度は、4月4日に新任教員研修会を実施し、学長から、理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話を行った。
- ・ アゴラ  
各学部・学環で原則月1回開催しているアゴラは、大学評議会、教授会と同様に本学における重要な会議のひとつとしており、あらかじめ前期・後期で開催日程を定めて開催している。  
医療保健学部においては、令和4年度にアゴラを前期5回、後期5回実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業点検は、令和4年度までに738回の点検を行った。その結果をみるとほぼ全ての教員が授業の内容・方法に改善がみられており、授業改善の取組みとしては、大きな成果をあげている。この教育力強化委員会による授業点検は、自己点検・評価の一環として実施しており、引き続きPDCAサイクルによる授業改善に取り組むこととしている。また、他の教員の授業をみることは、自己の授業改善にも役立つことから、新任教員については、着任1年以内に3回以上、その他の教員は当該年度中に1回以上の授業参観を義務づけ、教員の教育力向上のための取組みを継続する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

リハビリテーション学科では、全授業科目で授業評価アンケートを実施する。前期は7月上旬～7月下旬、後期は12月下旬～1月上旬に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、自由記述欄の内容が確認できるように、授業評価アンケート用紙及び科目ごとに結果をまとめた資料を当該教員にフィードバックしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

リハビリテーション学科においては、授業科目に変更はなく、設置の趣旨・目的にある具体的な計画に基づいた準備を行い、本学科が目指す人材養成に向けた教育・研究指導を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・ 令和5年1月公表

b 公表方法

・ 本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和10年に評価機関(日本高等教育評価機構)を受審の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。